修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8－7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

万国博見学に団体規制（上）

修旅は〝優先〟取扱い

場内の秩序を保つため

日本万国博はいよいよ来年三月十五日から同九月十三日までの百八十三日間、大阪・千里丘を会場として開かれるが、予想される参観者は約三千万人（万国博協会調べ）で、このうち修学旅行団はおよそ二百八十万人（全修協調べ）、さらに日帰りや遠足を加えると四百三十万人を突破する。会場内と周辺は相当の混雑が予想されるので日本万国博協会では修学旅行を優先させ、同時に安全実施を目標とする団体規制を行なうことになり、このほど同協会観客課長竹内哲夫氏が全修協本部を訪ね、協力方を要請した。同案は今後若干の変更もあり得るが、その趣旨は修学旅行団の秩序を保ち、事故防止の立場からとられる措置であり、各学校の協力と理解がほしいと竹内課長はいっている。（後半は次号に）

1、団体観客の取扱基準

団体観客の場内流動の秩序を保ち、休憩所、食堂などの施設利用を円滑にして個人、小グループを含めた観客の観覧を快適にするため。

（一）日帰り圏学校行事団体の入場調整

◇調整対象学校＝滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、（福井）の各府県日帰り圏内に所在する幼稚園、小学校、中学校、高校。

◇調整入場期間＝四月十三日から七月二十四日までの平日。【注】混雑する土、日曜を除く。

◇調整の単位＝各府県教育委員会単位で入場調整を行なう。

◇入場承認＝前記による入場調整により入場日の決定をみた幼稚園、学校は団体割引入場券購入申込前に「団体サービス・センター」に届出て承認をうけるものとする。

（二）宿泊園の学校行事団体

◇宿泊園の学校行事団体の入場は日本万国博入場に関する特別規則による。

◇休日の特別入場については次の「学校行事団体の休日特別入場」による。

①申込＝学校長または各府県市町村教委教育長が次の事項をあげて「団体サービス・センター」に申込みをする。

入場日

会場への利用交通機関

入場前後日の旅程または宿泊地

②承認＝前記①の申込みを審査の上、休日特別入場承認書を申込者に回付する。

（三）一般団体の入場（略）

（四）団体引率者と補助引率者

団体が展示館の観覧予定時間、休憩所、食堂などの指定（予約）利用時間に遅滞のないように行動し、あわせて観覧秩序の保持のために団体引率者のほかに補助引率者をつけるものとする。

（イ）学校行事団体＝小学校低学年（一－三年）児童二十名につき一名。同高学年（四－六年）児童四十名につき一名。中学校、高校は生徒五十名につき一名。【注】引率の教職員は人数を問わず児童、生徒の料金で入場できる。

（ロ）一般団体＝成人団体百名につき一名。老人（六十歳以上）幼児（十歳以下）が団体構成の五〇％をこえるとき二十名につき一名。

（五）学校行事団体の観覧コースの指定

学校行事団体の観覧コース、昼食場所（休憩所、食堂）は、団体サービス・センターが指定する。

センターへ申込む

2、団体サービス・センター

団体観客に対する協会承認事項および施設利用の申込受付窓口として、また、団体観客の把握、会場内団体観客の流動を円滑にするため。

◇団体サービス・センターの業務＝①学校行事団体の休日入場、早期特別入場の申込受付け承認。②団体バス駐車場の申込受付けと回答。③会場内施設の利用を必要とする団体の入場観覧調整と利用申込受付けと回答。日程の調整。休憩所、食堂など施設の利用個所時間の指定。④場内誘導ガイドの利用申込受付けと回答。⑤団体入場についての照会の処理。【注】団体サービス・センターは千里丘の会場におき、七月一日から業務を開始する。各種の申込みは各教委や学校が行なうことになっているが、旅行あっ旋業者を経てもよい。

【注】観覧コースはモデル・コースを二十ぐらい作成する予定。

（六）場内誘導ガイドの利用

（四）の団体引率者の機成ができない団体は「万国博場内誘導ガイド」の利用によることができる。

（七）団体の届出

学校行事団体が（五）の指定をうけるについて、また、一般団体が団体バス駐車場、食堂の利用申込みに際しては次の事項を「団体サービス・センター」に届け出るものとする。①入場月日②入（出）場予定時刻と会場出入口③観覧希望展示館（エキスポランドを含む）

3、団体バスの利用予約

①対象駐車場と両数＝中央、西北の団体バス駐車場。（両数については検討中）②予約対象車＝イ貸切バス（一般貸切旅客自動車事業免許のある車両）③予約申込者イ、貸切バス営業事業会社④予約方法＝日乗協（大阪バス協）と協議検討中。【注】駐車場の対策は万国博開催にさいしてのもっとも大きな課題。駐車予約は貸切バスとし、スクール・バスや自家用バスは検討中である。実施期間はバス・コントロール・センターを設け処置にあたる。

4、学校行事団体の早朝特別入場

宿泊園からの学校行事団体で、利用交通機関、日程などの都合で早朝特別入場を認める。（つづく）

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

論点

きょうこのごろ駅には観光地の大型カラー・ポスターがところ狭しと飾られ、電車やバスのなかにも観光団体募集のビラがさがり、われわれの旅情をさそっている。本屋の棚には案内書や写真集が文字通り汗牛充棟、国土地理院の地図はベスト・セラーだという。世は昭和元禄、旅行ブームはますます拍車を加えるだろう。

日本人はとくに旅行好きといわれるが、江戸封建制度の時代、旅行といえばわずかに〝お伊勢まいり〟だけが公認の旅行だったことにくらべると、まことに有難いご時勢である。今では見かけないが、〝伊勢種〟というイネの品種が全国で栽培された。それはこの伊勢参宮の道中で実った穂を水田から手折り笠の裏にさして郷里に持ち帰ったのが伝播したのだという。

旅行の価値倍増を

〝お伊勢まいり〟が大きなコミュニケーションの役割りをつとめたわけである。

このような実利的なことは別としても、旅をただ漫然と歩きまわることだけに終らせたくない。もちろん、なんの目的もなく旅をすることに生きがいを感じているご仁もあろうが、少なくとも修学旅行に関しては、目的をはっきりとしぼっておきたい。

一昨年、研修旅行の山陰コースに参加したある小学校の先生は、出発前の三カ月間、出雲大社をテーマにいろいろ調べた。その結果、出雲は中央の高天原系とは異質の神話を持ち、独立した強力な部族の集団であり、大和系の中央政府に対して独立王国であったこと、さらに大国主命のために造られた出雲大社は大和の宮殿に匹敵する建造物であり、巨大な権力者の宮殿であったことを知った。そして研修旅行で出雲大社を自分の眼でたしかめたうえ、さらに今でも研究を続けている。

日本の生い立ちに興味を持ったこの先生は、ことしの研修旅行に飛鳥・大和路コースへ参加している。

修学旅行ではすでに先生の指導で生徒たちが事前調査を行ない、終了後は研究物を発表しあったり展示したりしている学校が多い。修学旅行の価値を倍加している例である。未知の世界は若い魂にとって興味をよび起させるが、それを把えてさらに発展させ、研究や学習に結びつけることが教育の一技術ではなかろうか。学生時代、法隆寺の百済観音を拝観した瞬間の感動が歴史学の専攻にすすませた大阪市大の直木孝次郎助教授のような例（本紙昨年九月号一風紋）もうまれてこよう。

いま、京都や奈良、東京など修学旅行がたけなわである。彼らはどこでなにを学び取って帰るだろうか。また、近くはじまる研修旅行では六千人の先生がたの頭脳にどんな収穫があるだろうか。旅行の世界でもいろいろな意味での精神的ガメツさを尊ぶべきである。

小島要氏が就任

全修協新潟県支部長に

小島要氏

六月二日付で財団法人全修協新潟県支部長に小島要氏が、また、前支部長の小川喜代治氏は参与にそれぞれ就任、全修協運動に挺身する。

小島新支部長は昭和二年、高田師範本科、同四年専攻科卒、県内各小中学校教諭、校長を歴任後、二十七年から三十一年まで県教委主事、四十二年まで再び小中学校長、同年財団法人新潟県教職員厚生財団常務理事、本年六月一日同財団理事長に就任と同時に全修協の支部長となった。

徳橋会長ら再任

事務局長に高橋（儀）氏　関修委

関東地区中学校修学旅行委員会では五月二十三日午後三時から東京・千代田区の東京近鉄飯店で新旧役員歓送会を開いた。本年度の新役員つぎの通り。（敬称略）

▽会長＝徳橋善四郎（埼玉）▽副会長＝本宮源一（千葉）目崎隆雄（群馬）北条節男（栃木）今泉嘉広（茨城）▽運営委員長＝塚田武男（栃木）同副委員長＝高田福松（埼玉）▽運営委員＝高橋武司（千葉）岡田梅松（群馬）中山将善（茨城）白滝末紀（全修協）事務主幹＝山本実（全修協）

なお事務局長には前運営委員長の高橋儀六氏が就任した。

大和路・岡山へ

東京私学の研修旅行

財団法人全修協主催、東京私立中高協会文化部、同修学旅行研究調査会協賛の第六回東京私学・大和路、岡山現地調査研修旅行は奈良県、吉野町、明日香村、京都市岡山県、倉敷市、備前町などの後援で八月二十二日から同二十六日まで五日間開催される。

行程は岡山市、鷲羽山、倉敷市後楽園、備前町、閑谷学校、赤穂町、姫路市、吉野町、明日香村、伏見、京都市で二十五日は奈良県との修学旅行懇談会を行なう。講師は奈良県嘱託の松本櫓重氏ら。会費は二万九千五百円で定員四十名。締切は七月十日、申込先き全修協内、東京私学現地調査研修旅行係。

全修協だより

▼秋田県支部の電話番号は秋田三二－六六五六に変更▼盛田三喜雄氏（青森県支部長）青森県労金理事長に就任▼佐賀県支部事務局長は松田茂良氏退き山田長吉氏が就任。

風紋

▼日光東照宮境内の国道沿いに立つ「太郎杉」を切る、切らさぬとの争いが、ついに東京高裁にまで持ち込まれた。これは交通緩和と自然景観・文化遺産保護との問題だが、このところいたるところで宅地造成道路建設と風土、古文化財、遺跡などとの対立が起きている▼「太郎杉」では宇都宮地裁が伐採を主張する国と栃木県の敗訴を決めたが、こんどは国と県が東京高裁に訴え出たわけだ。〝枯死しかかっている樹だ。切ったほうがよい〟〝それだからこそ大切にしてやれ〟などとなかなかやかましい。裁判官も頭の痛いことだろう▼巨木と違って、これは小さな植物の話。高山植物や珍らしい野草が年ごとに荒され、死滅寸前にあるとの話題が登山シーズンを迎えて持ち上っている。ある新聞の投書にこんなのがあった。「許可なくして高山植物の採集を禁ずる」という立札は、裏をかえせば特別な人が学術資料などの理由で申請すれば許可証が交付される仕組みを衝き、これは一種のコネ採集だときめつけている。そして佐渡のシャクナゲが大量に県の有力者から中央の高官に贈られ物議をかもした例をあげている▼東京都下の高尾山は一日の行楽に絶好の場所だがこの付近一帯の山あいに自生していた昔からの染料ムラサキ草などはカネのワラジで探しても見つからぬという。高山のお花畑はどこも採集をおそれて針金の柵をめぐらしてあり、興をそがれる▼人間には生来収集癖があるそうで、それに最近の小盆栽ブームにのって高山植物や野草るいが無惨にも失われていく。自然のままの姿で自生させ、それを見て楽しむ心がけを国民教育として徹底させたい。〝ゴミを捨てるな〟〝紙屑は屑カゴへ〟のキャッチ・フレーズも大切だが、植物群の保護運動もモーレツに起すべきだろう。「やはり野におけレンゲ草」である。

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください

ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として〝修学旅行映画〟シリーズを製作しております。

●修学旅行映画シリーズ

奈良　京都　京都の庭園　富士箱根　日光
大和の国なか　大和の塔　火とみどりの国
瀬戸内海

（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）

電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」

近畿日本ツーリスト

全船冷暖房完備の修学旅行専用船

わかば丸・ふたば丸

旅客定員805名・1,100トン

●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます

楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！

関西汽船

●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

全修協企画

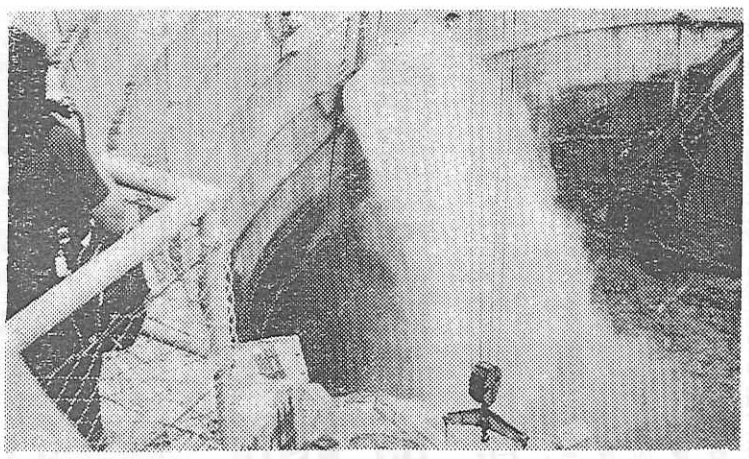
人気たかまる研修旅行

特集

〝大自然〟に触れよう

伸びゆく産業の実情も

全修協企画による本年度の夏期教職員研修旅行は例年のように全国各学校で大きなブームを巻きおこしている。精選した二十一コースは各自の好みによって自由に選択できるところから好評を受け、なかには満員のコースが出てきそうな気配で、各募集機関はうれしい悲鳴をあげている。ことしは沖縄、香港・台湾など遠距離コースに人気が集まっているようだ。では前号に続いておもなコースの見どころをご紹介しょう。



【黒四・乗鞍コース】ダム放水（福岡）田中雄二郎先生（昨年度写真コンクール作品）

黒四・乗鞍

【鬼押出し】天明三年（一七八三）浅間山の噴火で溶岩が流れ出た。そのまま冷えて岩原となり奇観に富んでいる。浅間山も美しい姿をみせる。

【黒四ダム】北アルプスの北部立山連峰と後立山連峰との間の黒部川は大峡谷として有名。黒四ダムはこの後立山連峰の中腹を掘り抜いてつくった長さ約五・四キロの関西電力トンネル。ダムは高さ百八十六メートル（日本第一位）長さ四百九十二メートル、体積百五十七万立方メートルのアーチ式ドーム型である。このダムで総貯水量約二億立方メートルの黒部湖ができ、これを十キロメートル下流の発電所に導き、最大二十五万八千キロワットの発電をしている。八年の年月と五百十三億円をかけて三十八年に完成。

【松本城】国宝。だれが築城したのか、確たる資料はない。慶長の初年、石川数正とその子康長が建てたというのが通説となっている。城主は絶えず変わり、そのため領民に対する愛情も薄く、城主と領民の間にはいくたびも争いがあった。貞享三年（一六八六）に嘉助騒動というのが起り、嘉助ら二十九人が殺された。断末魔の嘉助は末代までの恨みをこめて天守閣をにらみつけたため、それ以来城の天守閣は南西に傾いたという。昭和三十年の解体修理で、いまは完全な姿になっている。

【乗鞍岳】標高三千二六メートル。山頂のお花畑が有名。コニーデ式火山で六個の火山が南北にならび、遠くからみると馬の鞍のように見えるので乗鞍と名づけられた。最高峰の剣が峰頂上に東京天文台乗鞍コロナ観測所がある。

【上高地】特別天然記念物、特別名勝の地で標高千五百メートルの梓川上流の山間盆地にある。大正四年焼岳の噴出物でこれをせき止め、大正池ができた。池に埋まって立つ白樺が旅情をそそる。

【塩尻峠】長野県立公園内にあり、峠から東南に諏訪湖を見おろし、さらに富士山、蓼科山、八ケ岳など眺望できる。諏訪盆地と松本平野との境で、本州の中央高地における表日本と裏日本の分水界にあたる。塩尻駅の西南約一・五キロメートルに平出（ひらいで）遺跡がある。縄文式土器をともなうたて穴住居跡で、部落の桑畑のなかに復元されており、古代の住民生活がうかがわれる。

【諏訪湖】水面の高さ七百五十九メートル、周囲十七キロメートル、面積十四・五平方キロメートルあるが、一番深いところでも七メートルしかない。山間の断層湖、天竜川の水源である。冬は結氷するのでスケート場として好適。御神渡（おみわたり）と八重垣姫の伝説が有名である。

【河口湖】山梨県の南部、富士山と御坂山脈間のくぼ地にあり、富士五湖の一つ。海抜八百三十メートル。面積は六・一平方キロメートル。

東北一周

【中尊寺】天台宗の東北大本山で、同宗第四代の慈覚大師が東北教化にあたり嘉祥三年（八五〇）三月に開基、初めは関山弘台寿院といった。後に清和天皇から中尊寺の称号を受け、堀河天皇の長治二年、藤原清衡が自ら中尊寺の大壇主として勅願を奉じ、二十一年間の年月をかけて多くの堂塔を再建したもの。平安文化の精粋を集めた盛観は現世に仏国土建設の悲願を達成したものといえよう。三

【十和田湖】二重陥没火口湖といわれ、海抜四百一メートルにある山上湖。御倉、中山両半島が突き出ているためにほかの湖にみられない変化に富んだ景観が特色。周囲四十六キロ、面積五九・六平方キロで最も深いところは中の湖の中心部で三百七十八メートル。田沢湖に次いでわが第二位の深さをもっている。湖水の色はフォーレル第三号にあたる青藍色で、透明度は二十五メートル。休屋の付近には十和田湖開発に功労のあった明治時代の文学者大町桂月らを讃える故高村光太郎氏製作の記念像〝湖畔のおとめ〟がある。

【男鹿半島】秋田県立の自然公園。秋田市から約四十キロメートル、日本海に突き出た東西二十八キロメートル、南北約二十キロメートルの男性的な海岸美と女性的な草原美を持つ半島。干拓で有名な八郎潟、寒風山パノラマ・ライン、爆裂火口（マール）目潟など見るべきところが多い。

肌にしみる涼しさ

能登・立山・飛騨路

【能登金剛】高さ約三十メートルの台地が海にせまる。季節風に集魂岩はえぐられて奇岩となり、約十四キロメートルにわたる景勝を生んだ。巌門（がんもん）は約五十メートルの洞門で小舟で通過できる。

【輪島市】能登半島北岸の中心地で人口約五万。漆器と漁業の町である。漆器は応永年間（一三九四―一四二八）、この地に来た和歌山県根来寺（ねごろじ）の僧が寺で使う膳や椀などを作ったのがはじまりという。

【字奈月】黒部峡谷探勝の入口。字奈月は昭和初期まで奥丘上に出作り小屋しかなかったが、黒部川上流の電源開発にともなって発展したところ。温泉は上流約八キロメートルの黒薙、二見からの引き湯で泉質は単純泉。

【高山市】山の都飛騨高山はその名の通り四方を山にかこまれた素ぼくで静かな街である。人口約五万五千、海抜五百七十三メートルの高山の街は天正十三年（一五八五）金森長近が豊臣秀吉の命を受けて飛騨入りし、今の城山公園に城を築いてから、城下町として発達した。格子（こうし）造りの街なみは碁盤の目のように広がり、中央を流れる宮川にはコイやベニマスアユなどが泳いでいる。古い民俗や風習など研修すべきところが多い。春と秋に行なわれる高山祭が有名。

【日本ライン】木曽の御嶽山に源を発した木曽川は、途中で飛騨川と合流して二百三十二キロメートルにおよぶ。日本ラインは今渡から犬山城下に至る約十三キロメートルをいい、スリルにみちたこの川下りはすばらしい。

山陰

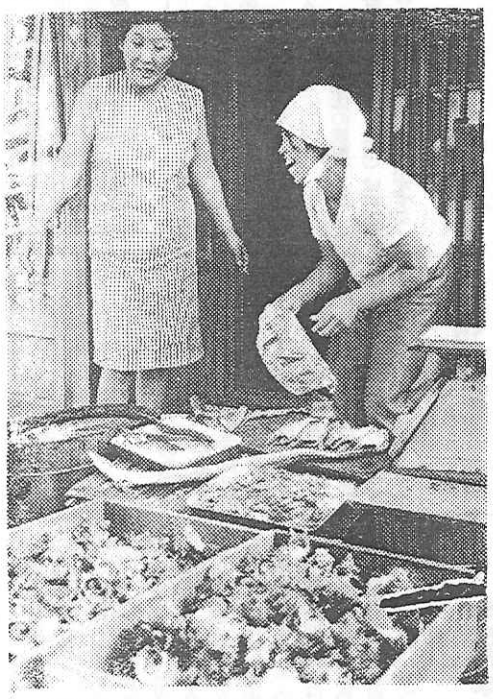
【秋吉台と秋芳洞】秋吉台は山陽線小郡、山陰本線長門市からもバスで約一時間の長門山地のほぼ中央にある面積約百八十平方キロメートルの石灰岩地で標高二百―三百メートル。石灰岩の地表は雨水の溶蝕でほかの岩石と違った形態となる。この地形をカルスト地形という。秋吉台からは多種類のフリズナの化石が発見される。これは日本における石炭紀や二畳紀（約二億五千年前）の標準化石であるところからこの台地は古生代、海底につもった地層で、西南日本の最初の骨格をつくった秋吉造山運動によって陸地化したものといわれる。この台地の下には大小無数の洞穴があり秋芳洞とよばれた探勝に価するところ。

【萩市】人口約六万、広い海面を持つ産業と観光の町で北長門国定公園の主要地。関ケ原の戦に敗れて防長二国に削封された毛利輝元（元就の孫）が広島から萩城に移ってから約二百六十年、地方政治の主都であった。市内には吉田松陰の松下村塾がある。

【出雲大社】祭神は大黒さまといわれる大国主命。スサノオノミコトの遺志をついで国土の経営にあたり、農耕、養蚕、医薬などをひろめたのち、国土を天孫族にゆずって国家の守護神になったと伝えられる。本殿は斉明天皇時代の制度による大社造りで原始民家の構造を持っている。

【松江市】むかし、出雲文化の中心地、出雲朝廷があったといわれ、市内には多くの古墳がある。近くは二百三十四年間、松平十八万六千石の城下町だった。小泉八雲の住居跡や記念館もある。

【鳥取砂丘】鳥取市の北方、千代（せんだい）川河口の東西にまたがる長さ十六キロメートル、幅二キロメートル、面積約千六百八十ヘクタールの起伏に富んだ大砂丘。現在は一部を残して開発化され、しだいに緑がふえてきている。鳥取大学の砂丘研究所もある。



【能登・立山・飛騨路コース】輪島の朝市（群馬）関口順恵先生（昨年度写真コンクール佳作入賞作品）

【東北一周コース】毛越寺の庭（滋賀）福田貞夫先生（昨年度写真コンクール佳作入賞作品）

伊勢・志摩・紀州

【伊勢市】昭和三十年に宇治山田市が改称した。人口約十万。古くから神聖な地域とされ、豊臣秀吉の検地でも無税の特典が与えられたほど。したがって町には特別な風習も多かった。例えばけがれを嫌う古神道では死刑などを行なわず、明治維新までは人が死亡したときも重病人として扱い葬ったという。現在では参宮客相手のサービス業が発達して面目を一新している。

【伊勢神宮】外宮の豊受大神宮と内宮の皇大神宮をいう。外宮の祭神は豊受大御神で五穀、衣食住など産業の守護神。内宮は天照大御神を祭り、歴代の皇室から深い信仰を受け、全国の神社の本宗ともいえる。内宮に十か所、外宮に四か所の別宮がある。

【真珠島】鳥羽市にある。今から七十六年前、真珠王御木本幸吉が苦心して養殖した最初の真珠が発見された記念の島。幸吉はさらに研究を重ね、真珠貝（あこや貝）を利用して天然に似い真円真珠の養殖に成功した。

【那智山】那智原生林の中に落下する那智の大滝は高さ三十三メートルで日本一。落ち口の幅十メートル、滝壺の深さ約十メートルある。

ことしの夏も教育的行事の豊富な

第13回 教職員 研修旅行 をどうぞ

この研修旅行も、13回を迎えました。教育界の年中行事ともなった安全快適・低廉な研修旅行に、本年もどうぞご参加下さい。

■お申込み・お問い合わせは各学校に配布掲示してあるチラシ記載の募集機関へ。

—実施コース—

★北海道一周★東北★奥東北★佐渡・磐梯★佐渡・信州★富士・箱根登伊豆大島★黒四・乗鞍★尾瀬・日光★能・・立山・飛騨路★伊勢志摩・紀州★四国一周★山陰★瀬戸内・山陽★山陽・山陰★九州一周★壱岐・北九州★種子島・南九州★奄美・徳之島★飛鳥・大和路★香港・台湾★沖縄

企画 財団法人 全国修学旅行研究協会